夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市湯廻五一番
電話387番
編集発行人　清水座村

藤原川、矢田川合流地域
二千万圓で排水施設
××土地改良区設立××

磐城市小名浜地区の藤原川、矢田川の合流地点流域は毎年水害、干害として二百町歩が其の被害を受けており、この被害により毎年六〇〇石の減収をみている。

この為市及地元農民より土地改良の要請を県に陳情を行っていたが県に於て同地区に対し三千万円の団体営かんがい排水施設事業を行う計画がいよ〳〵実施されることに決定し、排水事業費、総額三千万円、県補助一千二百万円、残り一千七百万円を地元負担として事業を行うことになった。

とのため、市農政関係者、小名浜地区農業委員、磐城市水害対策委員、関係区長等四十名が、明三日市役所会議室に集り、小名浜地区土地改良区設立準備協議会を開催することになった。

磐城市小名浜農業委員会では、自作農維持資金貸出しを行うことになり、借入金申込者は十一月十日迄市役所農政課又は土川支所に申込む事になっている。

尚貸付要項は次の通りである。

一、借受資金の使途

1、自作地を増反する場合に必要なる資金。

2、小作地を購入する必要資金。

3、相続により他の共同相続人からその相続分の買戻を受けるに必要な資金。

疾病、負傷、災害等により資金を必要とし、その自作地を売渡しなければ、資金調達困難なる場合

二、貸付金額は一戸当り最高二十万円以内。となっている。

廿万円まで貸出す
自作農維持資金

さらに中共向
硫安六千トン契約

磐城市高山、日本水素工業株式会社は、このほど中共向硫安六、〇〇〇屯の契約が成立、十二月下旬二、〇〇〇屯、十二月上旬二、〇〇〇屯、中旬二、〇〇〇屯を小名浜港より中共向け輸出することになった。

同社は九月一日コッパース式ガス化口の次入れ式を行ったが、以来試験操業を行い、順調な試験過程にあり、近く本操業に入る事になっているので、コッパース式による製品が市場に出廻る日も近い。

交通安全功労者表彰

磐城警察署では、交通安全旬間が終ったので、旬間に因み次の通り優良運転者を表彰した。

▼栗田磐城署長、小野義一安全協会磐城支部長賞
大平清治、金沢光一、佐藤仁三郎、小野正次、渡辺二男、市井重次郎、佐藤勝良、古市はじめ、鈴木広
会田義弘（日本水素）

渡辺君子さんの行績表彰

磐城市教育委員会では、四日朝小名浜第一中学校朝礼の折に、同校二年生渡辺君子さんが県下中等学校の陸上競技の向上に尽した行績を表彰することになった。

なお、教育委員会として記念品と表彰状を贈る模様である。

市民の協力で
下水溝清掃

十一月四日午前八時より磐城市では市内の下水溝が、汚泥其の他のごみ等で埋没し、流水が悪く、このため下水溝汚泥しゅんせつを地区市民の協力で行うことになった。下水溝しゅんせつは市土木課衛生課の指示により、臨港鉄道株式会社前より市内定西さんにも商店前迄の間である。

絢爛たる舞踊で
文化祭の幕あく

磐城市文化祭に特別参加する郷土出身山本春子さんの独唱会は、既報の如く今二日午後六時から小名浜二小講堂で開催される。

藤原義江氏が特別賛助出演する。

黒澤盃争奪
小名浜マラソン

既報小名浜高等学校々内マラソン大会は、同校々医黒沢盃争奪競走を行った。

▼男子コース　同校より勿来市さめ川橋折返し一七キロ
▼女子コース　同校より市内泉地区黒須野折返し一〇キロ

〇一位　岡部重（二年B組）　一時間十分二十八秒
〇二位　春口輝雄（二年B組）　一時間十四分二十九秒
〇三位　坂本恭明（二年商科）　一時間十五分五十三秒
〇一位　岡部日出子（一年被服）　四十五分十六秒
〇二位　小野好子（二年C組）　四十六分四十五秒
〇三位　樋口タミ子（三年C組）　四十七分四十八秒

天氣予報

「今晩」北よりの風、時々くもり時々晴からのちには本くもりとなり、雨が降り出しましょう。

「明日」北ないし東の風、くもり

「明後日」北のち西の風、雨から次第に天気は回復して来ましょう

「海上」今晩はおだやかです。明日は初めはおだやかですが、のちには風波が出ましょう。

明後日は風波が出ましょう。

文化祭特別参加の
文学風土記寫眞展

第二回磐城市文化祭行事中特別参加行事として十八、十九日行われる文学風土記写真展はちく藤青房の「日本文学アルバム」の写真撮影製作者であり過般東京において一回程個展を開いて好評を受けた大竹新助氏である。

写真展の内容は1北海道、2みちのく、3信濃路、4京都以西、5東京、6人物である。

写真の大きさは新聞紙大の大型版で、約一〇〇点が展示される。

福島県に因んだものとして注目されるのは、宮本百合子の父親が安積疏水の開拓者の関係から安積地方のものがあり、又宮本百合子が女子大在学中、中央公論に発表した貧しき人々の群の背景が沢山出されている。

又、詩人高村光太郎の「智恵子抄」の安達太郎山等も出されるのが期待されている。

尚、当日入場料（十円）を受けることになっているので、そのかわりとして各写真の解説パンフレットを入場者に出す事になっている此の種の催しは青少年の為に非常に教育的好果があるので喜ばれている。

椅子・修繕・張替
三光椅子店
磐城市白銀町二二

書道展覧会
明日から開催

磐城市文化祭の第一陣として、英友書道会主催の書道展覧会が、明三日から六日まで、小名浜第二小学校講堂で開催される。

今晩二小講堂で
山本春子獨唱会

出演者は少女を主体として先生の門下生、市内江名中之作漁業組合内加藤理髪店の美恵子（六才な）さんの「せせらぎ」等が上演される。

三日午後六時より小名浜公民館ホールにて、日本舞踊五条流の優実会、琴の宮城会、喜華会、謡の松韻会によって行われるが、日本舞踊は五条優実先生の新作振付によるもので十八種の舞踊が発表される。

明三日は菊かおる文化の日、磐城市の文化祭の夜は、郷土の舞踊家五条優実先生の門下生二〇余名の出演によって、けんらんたる日本舞踊等の邦楽、日本舞踊発表会によって華やかに展開される。

▲移転御知らせ▼
この度大黒屋向いに移転致しました。
倍旧の御利用を御願い申し上げます。
小名浜クリーニング店
電話六七四番

内科・外科・X線科
石井醫院
磐城市本町　電話四七一番
入院随意

▲移転御知らせ▼
この度大黒屋向いに移転致しました。
倍旧の御利用を御願い申し上げます。
小名浜クリーニング店
電話六七四番

昭和三十年十一月三日、四日
名畫鑑賞会出品目錄
於小名浜公民館日本間

書題	筆者	出品人
鵜	加藤栄三	太田武彦
山水	矢野橋村	〃
狗	山口華楊	〃
椿	金島桂華	石井正
春	田中以知庵	〃
野	菊地契月	〃
元緑美人	富田渓山人	志賀要平
洗流若石	堅山南風	小林仁平
桃	水墨山水	〃
竹林山水	結城素明	〃
寿老人	橘田永芳	〃
唐美人	榊原文翠	〃
松上鶴	無名	〃
松	酒井亜人	〃
高士観瀑	平福百穂	〃
松島ノ景	野田九浦	佐々木三郎
高砂之図	住吉具慶	佐藤マサ
鯔	木本大果	安川市郎
不二	田中案山子	佐藤郷助
鯉	村松乙彦	安龍光一郎
紅梅	渡辺清三嶋対	金成正秋
江ノ島風景	坂口一草	某家蔵
洋蘭	千秋性一	〃
秋景山水	小野礼一	〃
観月の舞	春日鉄山	黒澤廣
山鯉	土田麥僊	西丸猛
水	飛田周山	〃

防寒衣料大会
寒さの冬に暖かい衣料の御用意!!
2日▶6日

廣巾生地部

ソ毛ツキード	Sヤール	280円
〃	〃	300〃
〃	〃	350〃
純毛スーツ地	〃	450〃
〃	〃	550〃
〃	〃	650〃
片岡毛織80%サージ		500〃
〃 〃 60%ギヤバ		500〃

子供ユール天ズボン	130〃
学生ズボン（雲才）	190〃
中制ギヤバーズボン	350〃
紳七ロンテートズボン	630〃
幼児服3才	600〃
〃 オーバー3才	1.050〃

洋品部

大人裏毛上下（各）		140円
婦人 〃 〃		160〃
大人アシダー		120〃
裏毛申又		130〃
スムス女性着		140〃
長ズロースス		110〃
ズロースモンペ下		90〃
スムスモンペ下		140〃
豆オーバー	55円	65〃
豆モンペ下	55〃	65〃
中子裏毛	80円	90〃 100〃
特撰ネクタイ	150円	より
サロン前掛		50〃
子供エプロン		50〃
子供割烹着	90円	95〃
婦人別珍足袋		50〃
豆別珍足袋		30〃
殿方革手袋	350円	より
婦人 〃		350円

優良毛布大廉賣市
寒さに向つて品質の良い毛布を値上前の仕入値段にて奉仕!!

紡毛糸柄毛布…枚五五〇円（二八〇匁 三五尺×五尺）
紡毛捲縮格子毛布六五〇円（四〇〇匁 三六尺×五、一尺）
捲縮總柄毛布……八〇〇円（二五四匁 三四尺×五、三尺）
捲縮総柄毛布……九〇〇円（三六〇匁 三六尺×四、七尺）

柄ネル	ヤール	45圓		
白ネル	ヤール	45圓		
36吋巾キヤラコ	〃	55圓		
化繊服地	〃	68圓	80圓	
貫八別珍	〃	250圓		

皆様の利益を護る店
大黒屋
金販店　小名浜店　湯本店　平母店　平本店

警官の労苦と実績

警察後援会 治安協議会 解散さる

磐城警察署では、去る二十一日午後三時、二階会議室に於て、全国的に一斉に廃止されることになった警察後援会、治安協議会等を廃止することを決定した。

戦争前の過去に於ては、刑事協会といつた組織のものがあり、一部の人が警察に対して後援していたが、各種の問題があり、広く民衆的立場に立たなければならない取締当局者が、一部の人のみを対象にして援助を受けることでは、本来の目的である警察官に対する謝恩といつた意議が無くなつてしまうのであつた。

たまゝ昭和二十三年二月、昭和二十六年一〇月、昭和二十九年七月の警察機構の大改革を機会として後援会等を広く市町村等より補助を受けて再出発することになつた。

当磐城署に於ても昭和参拾年度に於ては、五十二万円の予算を計上していたが、その後全国の市町村共に財政状態が悪化し赤字続出であるので、今度の廃止ということに方針が一致したのである。

▲磐城署の昭和三十年度、自四月至十月治安協議会費収支決算報告書。

○収入総額

一、金拾七万九千五拾八円

内金　六万六千八百九拾六円也、て日夜苦斗している。

前年度繰越高

金　拾壱万二千百六拾二円也

磐城市より受入

二、支出総額

一金　拾七万二千八百一円也

○差引残高

一金　六千二百五拾六円也

▲昭和三十年度、自四月至十月警察後援会費収入決算報告書。

○収入総額

一金　三拾九万三千四百五拾一円也

内金　一万四千九百三円也

前年度より繰越高

金　三拾六万八千二百一拾三円也

磐城市より受入

金　参百一拾五円也

古新聞紙売却代金

○支出総額

一金　参拾八万七千五百五拾八円也

○差引残高

一金　五千八百九拾二円也

以上であつた。

又磐城署の業績を県下二九署中から拾つてみると。

昭和三十年一月から八月末迄刑法犯については、警察官定員三七名の数につき発生件数は実に一、二八〇件にのぼり、警察官一人当り発生負担は、三四、六件を背負つ

発生件数につき県下六位の検挙率からみても磐城署員の努力の跡がうかがわれる。

又各署取扱犯罪件数中トツプになつているのが、せつ盗犯である。これからみても県下二九署中第五位の発生件数は遺憾であるが、検挙率は警官一人当り一九、六人をあげて又立派な業績を示している。

警醒剤取締法違反については、過般当局者より表彰された事からみても多言を要さない成績である。

七六件、八六名の違反を検挙し押収物資二四、二〇二〇gを流布前に押収し、それがもとに依る中毒者の増加を未然に防止し、又それら常習者がやつ起する犯罪を防止した事は、市民がひとしく感謝し喜こんで居るところである。

少年犯罪については、当署の防犯係より数字的に検討し、これが減少と未然防止に努力している事が公表されている。

交通取締については、昨年紙に交通安全旬間の終了日について掲載した通りである。

以上の実績からみても、今回の廃止は、惜しまれているが、財政問題を抜きにした団体を作り、この立派な実績をのこそうと一部の人達は尚考いているようである。

海上の變死 体身元判明

昨報、磐城市下町馬上正美氏所有第七松丸が、磐城市永崎沖合一マイル沖合で収容した変死体について、身元調査中であつたが、調べによると、去る二十六日同市中の作業内防波堤で漁船を繋留中高波にさらわれた佐藤十三夫さん(二三)＝磐城市中ノ作長田漁師＝と判明した。

物語りに代えて!!

モニカを吹いてやつているうちに僕はそばで寝こんでしまつた。

うちの白石牧場でタケルが生れたのは、真白な冬の野原に朝日が黄金色にさし初める頃だつた。

母馬は千鳥というおとなしい馬だつた。

隣の大西牧場の保も自分のとこのワカアラシが生れたばかりで、大いばりだつたから、僕はタケルの生れるのが待遠しかつた。

早速、保や、金治、正吉、敬太などを呼んで、タケルを見せて僕は得意になつた。

東京の獣医学校を卒業した保の兄さん時男さんが帰つて来たので、雪江姉ちやんは一寸うれしそう。

僕はハーモニカのお土産をもらつたので、真先にタケルに聞かして、やつたら、ヒヒーんと鳴いた。

いつたものの、千鳥に可愛がられているタケルを見るとうらやましかつた。

嵐の晩、千鳥と離れたウマヤにいるタケルが鳴いているので、ハーんだから我慢した。

僕は「お母ちやんがいなくとも、雪江姉ちやんがいるからいい」といつたものの、千鳥に可愛がられているタケルを見るとうらやましかつた。

僕は泣きたいほど悲しかつた。だけどタケルが立派な競走馬になるんだから我慢した。

或る日、神主の景正さんが来てお父さんに後添えを貰えと話していたが、お父さんは「おれの女房はいつたら拾つてみると。

馬ツ子だ!」と云つて相手にしなかつた